
全国及び奈良県学力・学習状況調査の 調査結果の活用による指導改善に向けた説明会

小学校 国語

奈良県教育委員会事務局学校教育課
指導主事 川西 聡弘

E-mail:kawanishi-toshihiro@office.pref.nara.lg.jp

全国及び奈良県学力・学習状況調査の調査結果を踏まえた学習指導の改善・充実に向けた取組

1. 全国学力・学習状況調査

- 今年度の調査結果について
- **課題及び指導改善のポイント**

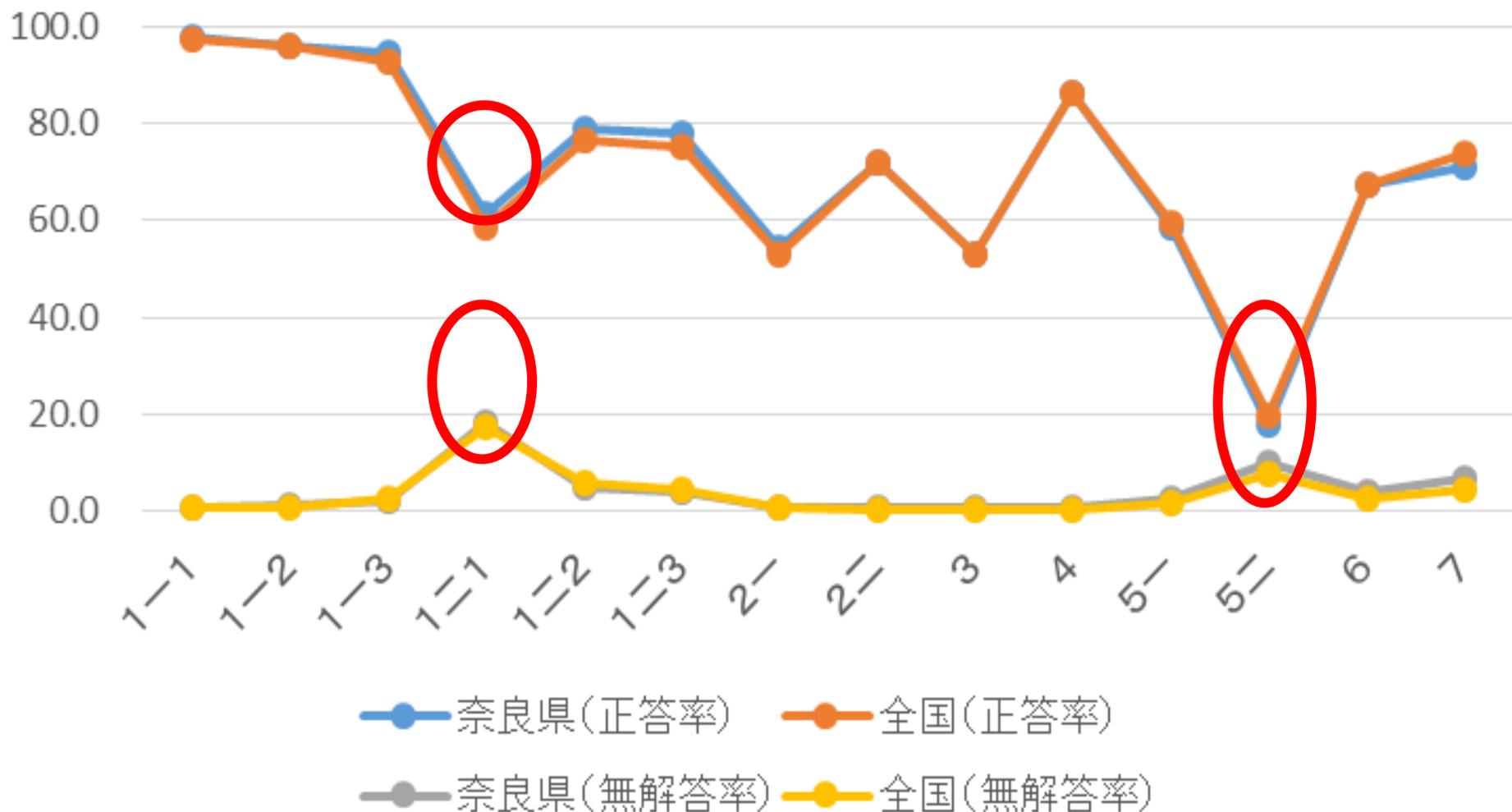
2. 奈良県学力・学習状況調査

- 今年度の調査結果について
- **課題及び指導改善のポイント**

3. 国語科における**今後の授業の在り方**

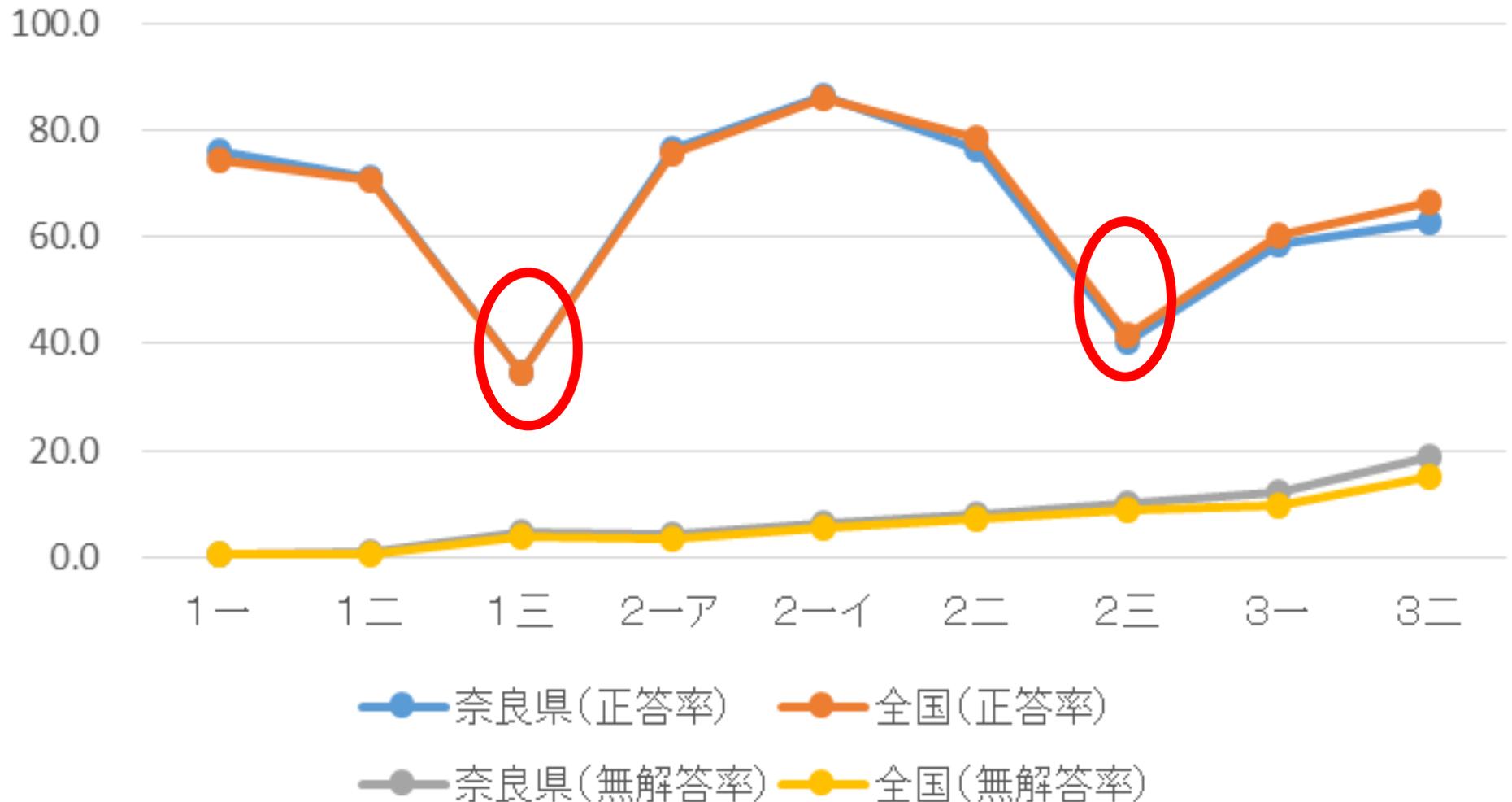
平成27年度全国学力・学習状況調査結果

小学校 国語A 平均正答率と無解答率



平成27年度全国学力・学習状況調査結果

小学校 国語B 平均正答率と無解答率



主な特徴

- 新聞のコラムを読んで、筆者の意図や思考を想定しながら文章全体の構成や表現の工夫を捉えることに課題がある。また、引用することに、依然として課題がある。
- 学校新聞を書く場面において、目的や意図に応じ、取材した内容を整理しながら記事を書くことに課題がある。
- 図やグラフなどを読み、自分の考えを伝えるために効果的に用いたり、文章と図やグラフなどとを関係付けて、自分の考えを書いたりすることに課題がある。

課題及び指導改善のポイント①

A5 新聞のコラムを読む

出題の趣旨

新聞のコラムを読んで、表現の工夫を捉えることができるかどうかをみる。

コラムの中で筆者が引用している言葉のはじめの5文字である「読書という」を書き抜く

正答率

20.0%

設問

二 筆者は、自分の思いや考えを根拠付けるためにある言葉を引用しています。それは、どの言葉ですか。最も適切な言葉のはじめの五文字を書きぬきましょう。ただし、句点(。)や読点(、)、かぎ(「」)は字数にふくみません。

解答欄

1 ▼四月二十三日
は「子ども読書の日」。世界では「世界本の日」とも呼ばれている。本とその作者たちを敬うとともに、読書の楽しみを味わう日である。2 ▼子供のころ、宮沢賢治の「セロ弾きのゴーシュ」に夢中になった。栗田の中で、一番へたなセロ弾きであるゴーシュが、動物たちとの出会いを通して成長していく様子に心がおどった。3 ▼ある作家の言葉に、「読書というものは、その時その時によって読みの味わいがちがう」というものがある。子供時代に読んだ本を大人になって読み返すと、また別の楽しみが味わえるものだ。4 ▼先日、「セロ弾きのゴーシュ」を再び読んだ。当時は気付かなかった人物の見事なえがき方やたくみな描写に、賢治のすばらしさを実感した。5 ▼世界の人が本について考える日。子供はもちろん、かつて子供であった大人も童心に返って本を楽しむ。そんなひとときもよいものだ。

5 次は、読者のことについて書かれた新聞の「コラム」(筆者自身の思いや考えなどを述べた短い記事)です。この「コラム」は、全体の内容が1から5までのまじりに分かれていますが、これをよく読んで、あとの一と二の問いに答えましょう。

【コラム】 記事の中の▼は、まじりを表す印です。

奈良県 17.8%

課題及び指導改善のポイント①

A5 新聞のコラムを読む

出題の趣旨

新聞のコラムを読んで、表現の工夫を捉えることができるかどうかをみる。

誤答傾向①

引用している言葉を含む文の、最初の5文字を書き抜いている。
× ある作家の

奈良県
3.1%

誤答傾向②

引用した場合はかぎ(「 」)で括弧することは捉えている。
× 世界本の日
× 子ども読書

奈良県
23.1%

誤答傾向③

筆者の思いや考えが書かれている5のまとまりを選んでいる。
× 世界の人々

課題

「引用」とは、本や文章の一節や文、語句などを引いてくることであると理解すること

課題及び指導改善のポイント①

A5 新聞のコラムを読む

出題の趣旨

新聞のコラムを読んで、表現の工夫を捉えることができるかどうかをみる。

指導改善のポイント

- ◆ 「引用」とは、本や文章の一節や文、語句などを引いてくることであり、かぎ(「」)で括ることなど、引用の仕方を指導するとともに、引用したことについて、自分の思いや考えを書くことなども指導する。
- ◆ 実生活で生きて働く国語の能力として、目的に応じて、適切に引用できるようになることは大切である。その際、「自分の考えを補説したい」、「説得力を高めたい」など目的意識をもたせるようにする。

課題及び指導改善のポイント①

A5 新聞のコラムを読む

出題の趣旨

新聞のコラムを読んで、表現の工夫を捉えることができるかどうかをみる。

授業アイデア例

引用する目的意識や必要性を十分にもてる言語活動を位置付け、課題解決の過程において指導する。

第3学年及び4学年「C読むこと」エ

目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章などを引用したり要約したりすること。



「主人公の心に残る言葉を引用したリーフレットで、
物語の魅力を説明しよう」

課題及び指導改善のポイント②

B1 目的や意図に応じて新聞を書く〈学校新聞〉

設問三 出題の趣旨 目的や意図に応じ、取材した内容を整理しながら記事を書くことができるかどうかをみる。

誤答例①

〈話した内容〉にある傍線部の理由を取り上げているが、「目を細めながら明るい声」という〈表情や声の調子〉について、取り上げることができていない

奈良県
49.1%

誤答例②

〈表情や声の調子〉について、取り上げているが、〈話した内容〉にある傍線部の理由を取り上げることができていない

課題

目的や意図に応じ、取材した複数の内容を的確に関係付けて記事を書くこと

課題及び指導改善のポイント②

授業アイデア例

交流会について取材して、学校新聞を書こう

学習活動1 新聞で一番伝えたいことは何か話し合い、学習課題を設定する

学習活動2 学習課題に基づき、紙面の割り付けを行うとともに、見出しを決め、記事を書く

トップ記事の見出し：交流で広がる 心の輪

下書きの文章

おじいさん、おばあさんから、遊び方や上手にできるコツを教えてください。そのほかにもお話をしたり、いっしょに遊んだりして、交流を深めることができました。

書き直した後の文章

おじいさん、おばあさんから、遊び方や上手にできるコツを教えてください。参加したおばあさんは、「すぐにコツをつかんでくれてよかったわ。」と、明るい声で話していました。また、おじいさんと仲良くなった一年生は、「来年も来てほしいな。」と、ここに書いていました。うまくできて、ハイタッチする人もいて、みんな楽しく交流を深めていました。

詳しく書き加えたい内容がないか、前に取材したことを振り返ろう。

トップ記事だから詳しく書く必要があるな。書く分量を増やそう。

もう一度、参加者にインタビューしたり、疑問に思ったことを図書館で調べたりするなど、再取材してみてもいいな。



詳しく書くポイント

書く材料

①インタビューの話の内容などを見直す

インタビューの際、記録したメモを基にして、話し手の言葉や様子を書き加えることで、話し手の気持ちや思いをよりの確に伝えることができます。

「すぐにコツをつかんでくれてよかったわ。」

明るい声で話していた様子が印象的

②写真資料等で活動の様子などを確かめる

活動の様子を書き加えることで、読み手により分かりやすく伝えることができます。

うまくできて、ハイタッチしている人がいた。

③参加者の意見や感想を聞く

参加者の意見や感想を書き加えると、読み手に説得力をもって伝えることができます。

「おじいちゃんとすぐに仲良くなれて、うれしかったな。来年も来てほしいな。」

学習活動3 完成した記事を読み合っ、交流する楽しさが伝わるかどうかを相互評価する

課題及び指導改善のポイント③

B2 目的応じ、文章と図とを関係付けて読む 〈だれが選ぶ どれを選ぶ〉

設問三 出題の趣旨

文章と図とを関係付けて、自分の考えを書くことができるかどうかをみる。

楽器の分担の決め方について、【楽器の分担図】を基にして書く

正答率

41.8%

奈良県
40.2%

〔条件〕
○「リコーダー①」「小だいこ」「木さん」という三つの言葉を使って書くこと。
○「木さん」の決め方については、「文章」の……の中で説明している。決めるときに大切なことを取り上げて書くこと。
○書き出しの言葉に続けて、八十文字以上、百字以内で書くこと。なお、「しかし」から始まる書き出しの言葉は字数にふくむ。

〔問い〕 森山さんのグループでは、「希望者が一人の場合には、その人がその楽器に決まる」ということを確認しています。グループの五人は、楽器の分担をどのように決めていくようになりますか。
〔楽器の分担図〕をもとにし、次の条件に合わせて説明しましょう。



三 森山さんの学級では、音楽の学習でグループごとに合奏をすることになりました。そこで、森山さんのグループの五人は、それぞれの希望をもとに、担当する楽器を決めることになりました。次の【楽器の分担図】は、【文章】の内容を参考に五人の希望を整理したものです。あとの〔問い〕に答えましょう。

課題及び指導改善のポイント③

B2 目的応じ、文章と図とを関係付けて読む 〈だれが選ぶ どれを選ぶ〉

設問三 出題の趣旨 文章と図とを関係付けて、自分の考えを書くことができるかどうかをみる。

誤答傾向①

楽器の分担を決める過程を説明するために、【楽器の分担図】に示された内容を読み取ることができているが、【文章の】の□に書かれている決めるときに大切なことを取り上げて書くことができていない

誤答傾向②

【文章】の□に書かれている決めるときに大切なことを取り上げず、自分の経験と結び付け、具体的な方法を書いたと考えられる

奈良県 29.4%

課
題

図やグラフなどを読み取るとともに、文章と図やグラフなどとを関係付けて読み、自分の考えをまとめること

課題及び指導改善のポイント③

授業アイデア例

自分の考えを述べるために必要な図表やグラフを用いて書こう

学習課題 解説文を書くことに向けて、自分の伝えたいことに合った図表やグラフなどの資料を見付けよう

学習活動1 何を伝えたいのか確認し、必要な情報を探す

- 自分の伝えたいことを明確にし、書名、目次、索引、見出し、手掛かりとなる言葉などに気を付けて、資料などを速く大まかに読む。



伝えたいことに合う情報とは、伝えたいことの根拠となるものや伝えたいことをより詳しく説明するものです。



一人一人がごみを減らしたり、ごみをきちんと分別したりすることが大事だということ伝えて、もっと協力してもらいたいな。そのため、「ごみの分別の仕方」や「ごみの処理の仕方」に気を付けて読んでみよう。

学習活動2 必要な情報がどこにどのように書かれているか見付けながら読む

- 「図表やグラフの読み取りポイント」に基づき、各自で、図表やグラフから読み取ったことをまとめる



図表やグラフを読む際のポイントには主に次の四つがあります。

- ①何を表す図表やグラフなのか
- ②図表やグラフの中にあるそれぞれの情報は何を表しているのか
- ③どの言葉や数字に注目するのがよいか
- ④注目する言葉や数字は何を意味するのか



ごみの始末には大変な労力、費用、時間がかかることが伝われば「なるほど」、「確かに」、「ごみの分別に協力しよう」って思ってくれらるだろうな。

授業アイデア例

自分の考えを述べるために必要な図表やグラフを用いて書こう

学習活動3 見つけた情報によって自分の伝えたいことが伝わるか考えながら読む

- 「自分の伝えたいこと」と「図表やグラフから読み取ったこと」との照応について、説得力を高めているか確かめる。

図表やグラフなどを用いると自分の考えをより分かりやすく伝えることができます。何のために資料を用いるのか考えましょう。

- ① 数を表したい→表やグラフ
 - ② 図解したい→図
 - ③ 実際の様子を説明したい→絵や写真
- など



ごみの減量や分別の必要性について、説得力をもって伝えるためには、この図表やグラフ、絵、写真で合っているかな。

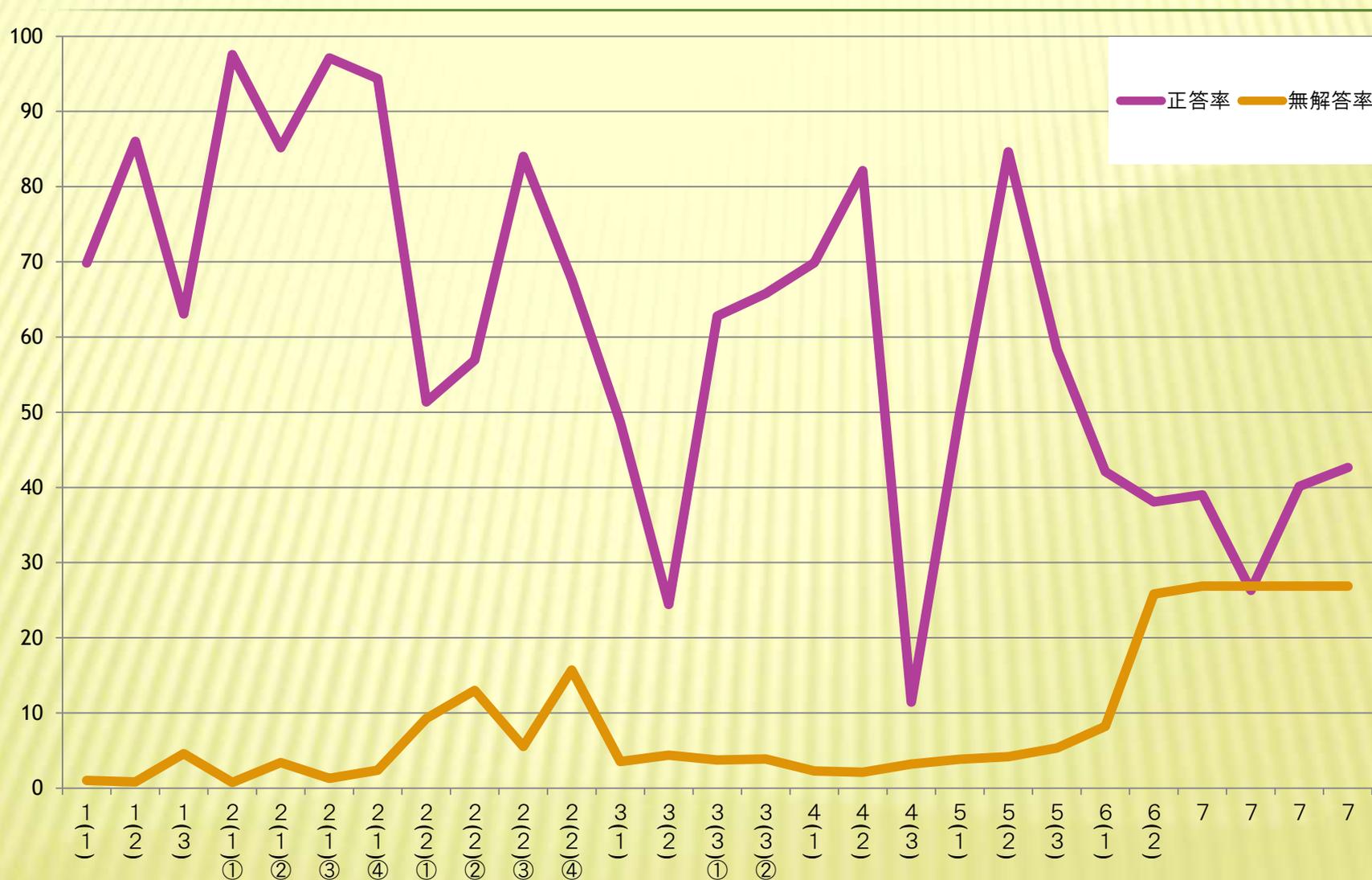
学習活動4 選んだ図表やグラフ、絵、写真などの資料を用いて、文章を書く

- 自分が選んだ図表やグラフ、絵、写真などは、伝えたいことに合っているかを考え、選んだ資料を用いて伝えたいことを書く。
- 何という資料から引用したのかを表やグラフの近くに書く。また、文章の最後に、参考にした資料名などを明記する。

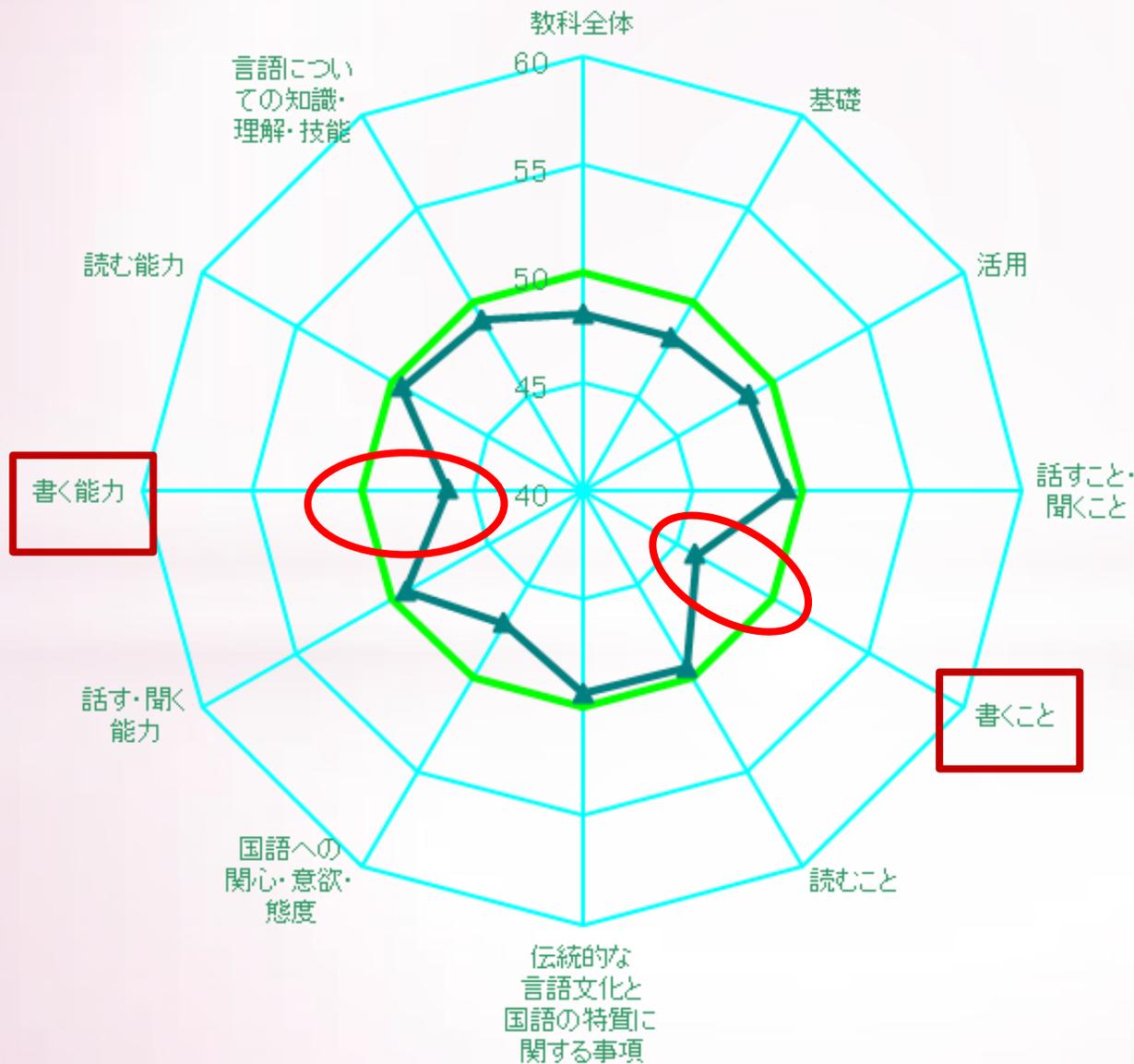


奈良県学力・学習状況調査結果

小学4年 平均正答率と無解答率



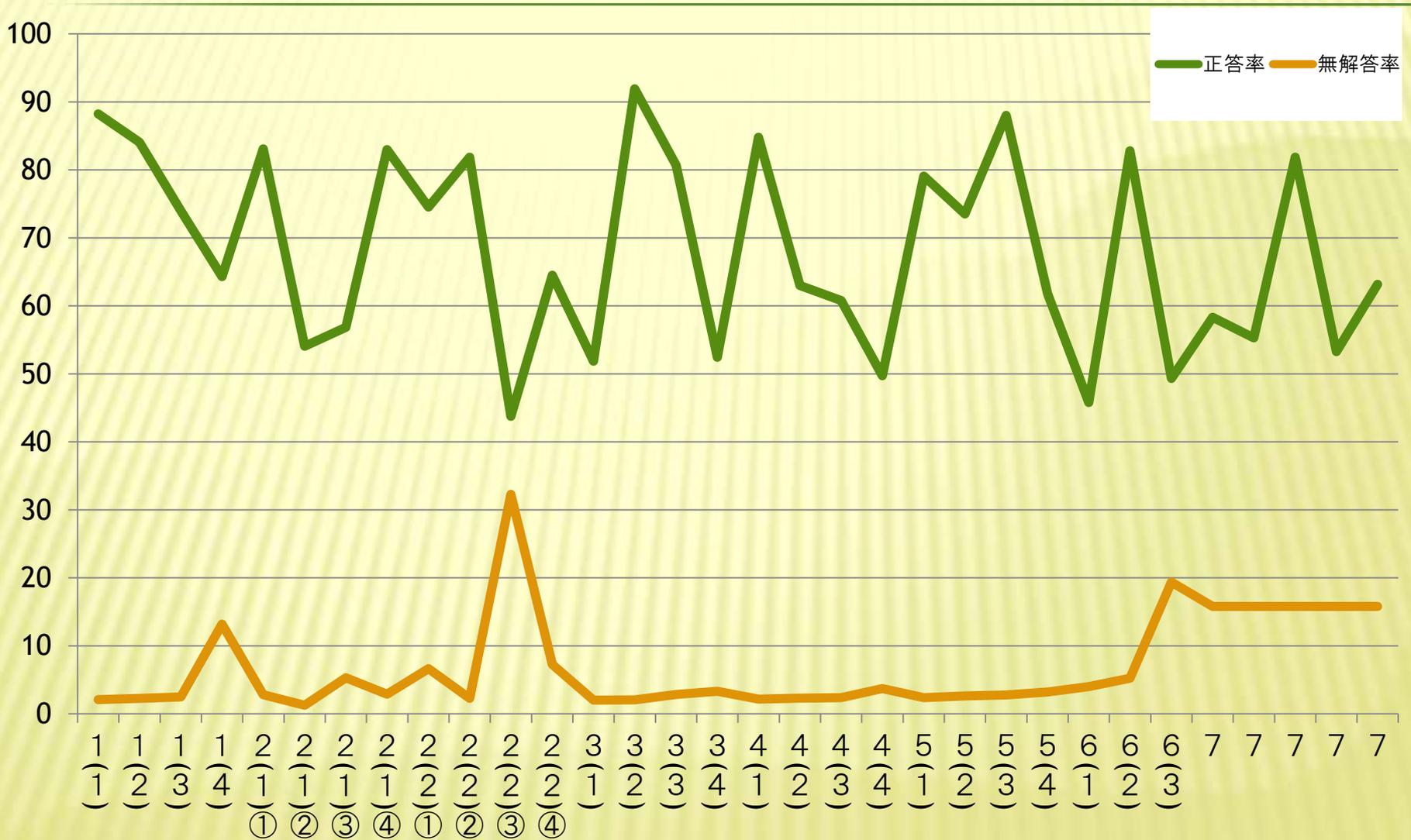
奈良県学力・学習状況調査結果



小学4年
国語

奈良県学力・学習状況調査結果

中学1年 平均正答率と無解答率



課題及び指導改善のポイント

4

(2) 「あっ」と声を出したとありますが、それはなぜですか。次から一つえらんで、その番号を書きましよう。

- 1 キのう見た生き物がいたから。
- 2 キのう見た生き物がなくなったから。
- 3 黒いチョウがとんできたから。
- 4 黒いチョウを見うしなったから。

82.1%

(3) この文章を読んだ人たちが、次のように感想を話し合いました。□にあてはまる言葉を、あとから一つえらんで、その番号を書きましよう。

「ぼく」は、はじめは「家に帰りたい」と思っていたのに、最後には「キツネとなかよくなれるかもしれない」とわくわくしているよ。」

「ぼく」は、山小屋ですごすのが、楽しくなってきたんだね。」

□に対する「ぼく」の気持ちのちが

いからも、そのことがわかるね。」

- 1 山小屋の近くの林
- 2 山小屋にさしこんでくる朝日
- 3 山小屋のそばにすむ生き物
- 4 山小屋のまわりをふく風

11.4%

課題及び指導改善のポイント

全文揭示の工夫

4

次の文章を読んで、下の問題に答えましょう。

「ぼく」は、モリおじちゃんの山小屋に来ている。昼間、小屋の近くでキツネのような生き物を見た。ぼくはねぶくろを持って六畳（むすじょう）に行つて、おじちゃんのとまりでねた。風の音がこわくて、一人でねむれなかつたのだ。

何かがほえているような、家をのみこんでしまいそうな、おそろしい風の声にぼくは耳をふさいだ。ふさいでも、すき間から風のうなり声が入ってくる。【1】

ヒュー ヒュウウー ウー

心細くて、すぐにも家に帰りたいと思ひながら、ぼくはいつの間にかねむってしまった。【2】

鳥の声で目がさめた。

雨戸のすき間から、光が矢のようにさしこんでいる。

となりを見ると、モリおじちゃんのこん色のねぶくろは、もう丸めて部屋（へや）のすみにおいてあった。ごはんのたけらにおいがする。【3】

「モリおじちゃん、おはよう。」

「おう、起きたか。ちようとメシがたけたところだ。そのこの雨戸も開けてくれ。」

台所（だいしよ）も四畳半（しよじょうはん）も明るい。

ぼくは六畳の雨戸を開けて目を見はった。

ぞう木林の緑が朝日にかがやいてきらきらしている。

木の間から光のすじがすーっとのびて、風で葉っぱがゆれると地面に金色の水玉がゆらゆらゆれる。さわさわと気持ちのいい風が、緑の空気を運んでくる。【4】

きのうの夜の風と違ってちがうんだらう。

ぼくはむねいっばいに空気をすいこんだ。

あちこちで小鳥が鳴いている。チョウがとんでくる。

「クロアゲハだ。」

黒いチョウが林の間をゆったりとんでいく。クロアゲハを目でおいかけていたぼくは、「あつ」と声を出した。

木のかげから、きのう見たキツネが、もしかしたらタヌキが、こつちをじつとうかがっていたのだ。

「おじちゃんー きのうのキツネがいる。」

キツネは、遠くからぼくを見ていた。

もしかして、キツネとなかよくなれるかもしれないと思つて、ぼくはわくわくした。

（山末（やますえ）やすえ「ぼくとおじちゃんとハルの森」より）

※注1 六畳：モリおじちゃんのねている部屋

2 四畳半：「ぼく」がねていた部屋

課題及び指導改善のポイント

単元を貫く言語活動のイメージ

昔話の大好きな場面を選び、音読して紹介する

付けたい力: 第3学年及び4学年 C読むこと ア、ウ

昔話の大好きな場面を選び、音読して紹介する

第一次

読み聞かせ
音読演示
課題設定

第二次

- ・ 場面の移り変わりや登場人物の気持ちの変化を捉える
- ・ 何度も繰り返し音読しながら、自分の感じ方に合わせて音読の工夫を考える

第三次

自分が選んだ
大好きな場面を
音読で紹介

単元を通して、昔話の並行読書

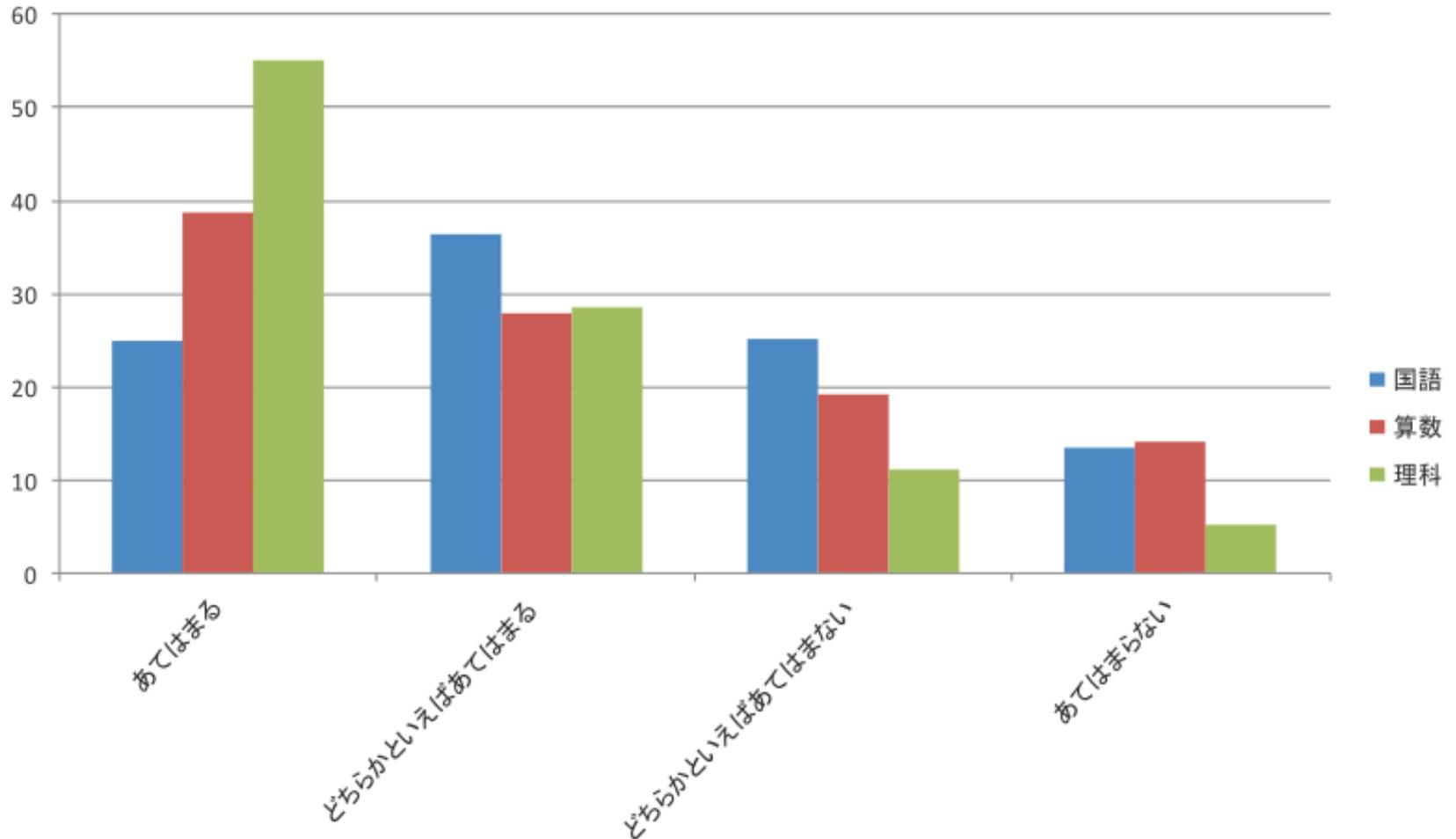
今後の授業の在り方

「教育課程企画特別部会 論点整理（案）」（平成27年8月20日）

- **習得・活用・探究という学習プロセスの中で、問題発見・解決を念頭に置いた深い学びの過程が実現できているかどうか。**
- **他者との協働や外界との相互作用を通じて、自らの考えを広げ深める、対話的な学びの過程が実現できているかどうか。**
- **子供たちが見通しを持って粘り強く取り組み、自らの学習活動を振り返って次につなげる、主体的な学びの過程が実現できているかどうか。**

今後の授業の在り方

● ○○科の勉強は好きですか。



国語の授業のチェックポイント

1. 学力の状況の把握

全国学力・学習状況
調査などを活用

2. 付けたい力の明確化

3. 単元の構想〈言語活動〉

授業アイデア
例などを活用

4. 評価規準の設定

5. 学習評価（授業後）＝1へ

学習指導要領の理解



全校体制で取り組む10のポイント

- 1 全職員で調査問題の趣旨(メッセージ)を確認する。
 - ①まずは、問題を教師自身が解くことから始める。
 - ②どのように思考・判断し、どんな記述の力が必要かを体感する。

- 2 全職員で調査問題の結果を分析し、課題の所在を話し合う。
 - ③子どもたちの弱点を知ることが大切にする。(特に「4年間のまとめ」の活用)
 - ④誤答傾向や不十分な解答に指導改善のヒントを得る。

- 3 全学年を通じて、年間の見通しの中で課題を解決する。
 - ⑤調査問題を教科書教材と関連付ける。
 - ⑥自校の年間指導計画(例:備考)の中に課題を明記(朱書き)する。
 - ⑦上記⑤・⑥と同時に授業で活用できる資料を明記する。

- 4 調査問題や調査結果を活用した授業を構想する。
 - ⑧B問題の設計や構成そのものを授業づくりのヒントにする。
(特に条件に即した記述への手立て～三領域における記述力の重視)
 - ⑨授業アイデア例BOXを授業づくりのヒントにする。

- 5 学習指導要領国語の目標や内容の実現を第一義とする。
 - ⑩「言語活動を通して指導事項を指導する」という基本方針を踏まえる。